

■電子納品についての試行実施概要

電子納品の目的：建設工事関係書類の収納スペースの削減、受注者の書類作成手間の削減及び紙の使用量の削減による省資源化などを図ることを目的とする。

試行の趣旨：電子納品の本格実施にあたり、工事金額の規模や適正かつ円滑な運用方法等を定めるため、成果品の管理状況、工事担当職員及び受注者の対応状況等から問題点などを把握することを趣旨とする。

電子納品対象：工事写真帳

*受注者の都合による紙での納品も認める。

対象工事：土木・建築のすべての建設工事（上水道工事を除く）

*設計書に「電子納品試行運用」通知を添付

その他：○運用の際は、受注者、工事担当職員ともに、「小牧市電子納品チェックリストの運用について」に基づき、様式第1「小牧市電子納品チェックリスト」により協議・確認を行う。

○電子納品を実施しない場合、契約時に受注者はその旨を監督員に申し出るとともに、「電子納品チェックリスト」に理由を記載して提出する。

○試行運用で各者の対応状況や問題点等把握し、対処方法等を十分検討した上で、実施基準等を修正し、本格運用に移行する。